

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1年次用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～6組
 教科担当者：（1組：山崎）（2組：竹内）（3組：竹内）（4組：山崎）（5組：山崎）（6組：竹内）
 使用教科書：（現代の国語 大修館書店）

- 教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。
 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。
 【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
「動」への変化（落合陽一） 【知識及び技能】 ・ 叙述を的確にとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の叙述をもとに要点を把握し、内容や形式について論述する。	【指導事項】 ・ 叙述を的確にとらえる。 ・ 具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 【教材】 現代の国語 大修館書店 【一人1台端末の活用】 ・ アンケート等をTeamsを使って実施。			○	【知識・技能】 ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 進んで、文章の叙述を基に要点を把握し、学習課題に沿って、内容や形式について論述しようとしている。	○	○	○	8
考える技術—考えさせない時代に抗して（野矢茂樹） 【知識及び技能】 ・ 言葉の意味内容を改めて考え、認識や思考と言葉との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握する。	【指導事項】 ・ 言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かい姿勢を作る。 ・ 話し言葉の特徴をふまえて的確に話す。 ・ 情報が伝わるように説明の仕方を工夫する。 【教材】 現代の国語 大修館書店 【一人1台端末の活用】 ・ ワークシート等をTeams内にて提示。	○	○		【知識・技能】 ・ 言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 積極的に、学習課題に沿って、「考える」という概念がどのようなものとして定義されているか把握しようとしている。	○	○	○	8
定期考査						○	○		1
伝わるように話す 【知識及び技能】 ・ 話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話す。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 口頭での説明を通して、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整する。	【指導事項】 ・ 情報を収集・整理し、伝え合う内容を検討する。 ・ 情報が的確に伝わるように説明の仕方を工夫する。 ・ 相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身に付ける。 【教材】 現代の国語 大修館書店 【一人1台端末の活用】 ・ ワークシート等をTeams内にて提示。	○			【知識・技能】 ・ 話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「話すこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 口頭での説明を通して、話し言葉の特徴をふまえ、相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	6
自然と人間の間を通して考える（内山節） 【知識及び技能】 ・ 主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理展開についての的確にとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整する。	【指導事項】 ・ 主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 ・ 演繹・機能に着目して、文章の論理をとらえる。 ・ 内容や構成、論理の展開などについて、的確に捉える。 【教材】 現代の国語 大修館書店 【一人1台端末の活用】 ・ ワークシート等をTeams内にて提示。		○		【知識・技能】 ・ 主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理展開についての的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
定期考査						○	○		1

2 学 期	<p>「安くおいしい国」の限界（小熊英二）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図表を伴う文章を読むことを通して、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整する。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 内容や構成、論理の展開などについて、的確に捉える。 文章の要旨、要点を把握する。 情報を相互に関連付けながら、内容を解釈する。 目的や意図に応じて適切な話題を決める。 情報のだらう性、信頼性を吟味し、伝えることを明確にする。 情報が的確に伝わるように説明の仕方を工夫する。 読み手の理解が得られるよう、論理の展開や構成を工夫する。 <p>【教材】</p> <p>現代の国語 大修館書店</p> <p>【一人1台端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート等をTeams内にて提示。 							8	
	定期考査									1
	<p>「美しさの発見について」（高階秀爾）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえる。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 内容や構成、論理の展開などについて、的確に捉える。 文章の要旨、要点を把握する。 情報を相互に関連付けながら、内容を解釈する。 解釈や評価を通して、自分の考えを深める。 <p>【教材】</p> <p>現代の国語 大修館書店</p> <p>【一人1台端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート等をTeams内にて提示。 								9
<p>空気を読む（香山リカ）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえる。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 内容や構成、論理の展開などについて、的確に捉える。 文章の要旨、要点を把握する。 情報を相互に関連付けながら、内容を解釈する。 解釈や評価を通して、自分の考えを深める。 <p>【教材】</p> <p>現代の国語 大修館書店</p> <p>【一人1台端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート等をTeams内にて提示。 								9	
定期考査										1
3 学 期	<p>言葉についての新しい認識（池上嘉彦）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文中の根拠や引用に着目し、その妥当性や信頼性を吟味する。 内容や構成、論理の展開などについて、的確に捉える。 文章の要旨、要点を把握する。 情報を相互に関連付けながら、内容を解釈する。 結論を出すために話し合う。 文章を読み取って主張を書く。 <p>【教材】</p> <p>現代の国語 大修館書店</p> <p>【一人1台端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート等をTeams内にて提示。 								9
	<p>レポートを書く</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートを書くことを通して、文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な情報を集め、問いを立てる。 調べたことを根拠として、問いを解決するレポートを書く。 								8
	定期考査									
									合計	70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1年次用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

教科担当者：（1,2組：竹内、永井、片岡） （3,4組：竹内、永井、片岡） （5,6組：竹内、永井、片岡）

使用教科書：（探求 言語文化 桐原書店）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

#	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
	<p>単元：歴史的仮名遣い</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代語との違いを把握し、古語の特徴を理解することができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古語の特徴を理解し、単語や文章を読むことができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古語が日本語や日本の文化に密接に関わっていることを認識し、積極的に学びに関わろうとすることができるようにする。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古文の特徴という観点から、現代語との言葉や文法、仮名遣いに違いがあることを指導する。 歴史的仮名遣いの読み方、書き方について指導する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桐原書店「探求 言語文化」 京都書房「高校生の古典文法 七訂版」 			○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代語との違いを把握し、古語の特徴を理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古語の特徴を理解し、単語や文章を読むことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古語が日本語や日本の文化に密接に関わっていることを認識し、積極的に学びに関わろうとしている。 	○	○	○	4
	<p>単元：単語の種類、品詞</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文を文節や単語に分けることができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 品詞の種類と役割について理解することができるようにする。 単語が体言であるか用言であるかを判断し、文節の働きを導くことができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代語における自身の言葉の使いも鑑みながら学びに向かうことができるようにする。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古文も現代語の文同様な節や単語に分けることができることを指導する。 文節の役割から主語、述語、修飾語等に分類できることを指導する。 単語をその働きから品詞に分けられることと、品詞の分別の仕方を指導する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桐原書店「探求 言語文化」 京都書房「高校生の古典文法 七訂版」 			○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代語との違いを把握し、古語の特徴を理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古語の特徴を理解し、単語や文章を読むことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古語が日本語や日本の文化に密接に関わっていることを認識し、積極的に学びにしようとしている。 	○	○	○	4
	<p>単元：児のそら寝</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いの読み方の基本を理解し、古文を正しく読むことができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話の展開を想像しながら、重要な点や主題を意識、把握しながら読むことができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典文学に関心を寄せ、世界観を楽しみながら読めるような態度を養う。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読を行い、古文の独特のリズムや響きが認識できるように指導する。 動詞を探し出し、活用語尾について考える時間を設け、用言の識別の基礎を定着させる。 現代語訳をする際の基礎を指導する。 児の心内語を探し出し、その動きを理解できるよう指導する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桐原書店「探求 言語文化」 京都書房「高校生の古典文法 七訂版」 			○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いの読み方の基本を理解し、古文を正しく読むことができる。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話の展開を想像しながら、重要な点や主題を意識、把握しながら読むことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典文学に関心を寄せ、世界観を楽しみながら読もうとしている。 	○	○	○	4
	<p>単元：検非違使忠明のこと</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いの読み方の基本を理解し、古文をリズムよく、正しく読むことができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話の展開を把握し、時代背景を鑑みて主題について考えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書かれた時代の文化や習慣を考えをめぐらしながら古文を読み、楽しむ態度を養う。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音読を行い、古文の独特のリズムや響きが認識できるように指導する。 動詞を探し出し、活用語尾について考える時間を設け、用言の識別の基礎を定着させる。 検非違使という役職や、児の心内語を探し出し、その動きを理解できるよう指導する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桐原書店「探求 言語文化」 京都書房「高校生の古典文法 七訂版」 <p>【一人1台端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートの提出など 			○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いの読み方の基本を理解し、古文をリズムよく、正しく読むことができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話の展開を把握し、時代背景を鑑みて主題について考えることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書かれた時代の文化や習慣を考えをめぐらしながら古文を読み、リズムの良さを味わおうとしている。 	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1

1 学 期	<p>単元：大江山</p> <p>【知識及び技能】 ・用言の理解を軸に現代語訳をすることができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 登場人物の心情や筆者の示す教訓などを読み取り、自分の考えを持ち表現することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・古典の歌は現代とは全く異なる意味合いをもつということに対し、想像力を膨らませ、積極的に受け入れられることができるようになる。</p>	<p>【指導事項】 ・円滑に文章を読むために歴史的仮名遣いの復讐、定着を図りながら音読を行い、古文の持つ独特のリズムや響きを意識できるように指導する。 ・現代語訳をさらに平易に解説し、生徒自身が想像力を働かせて本文を理解できるように指導する。 ・筆者の示す教訓からどのようなことを考える会見を持たせ、自分自身の生活に結びつけて考えられるよう指導する。</p> <p>【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・京都書房「高校生の古典文法 七訂版」</p> <p>【一人1台端末の活用】 ・発表ツールやペアワークのツールとして用いる。</p>	○	○	<p>【知識・技能】 ・用言の理解を軸に現代語訳をすることができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 登場人物の心情や筆者の示す教訓などを読み取り、自分の考えを持ち表現することができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典の歌は現代とは全く異なる意味合いをもつということに対し、想像力を膨らませ、積極的に受け入れられることができるようになる。</p>	○	○	○	6
	<p>単元：用言の活用</p> <p>【知識及び技能】 ・動詞、形容詞、形容動詞の働きを捉えつつ、活用を理解することができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・動詞、形容詞、形容動詞の活用を単語や文中からも判断することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活にも動詞、形容詞、形容動詞に分類される言葉が多様にあることを理解し、身の回りのことと関連付けて学びに向かうことができるようにする。</p>	<p>【指導事項】 ・十品詞の復習をしながら動詞、形容詞、形容動詞が用言であることへの理解が定着するよう指導する。</p> <p>・動詞の活用9種類、および形容詞の活用2種類、活用形の見分け方について指導する。 ・形容動詞の見分け方と活用について指導する。</p> <p>【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・京都書房「高校生の古典文法 七訂版」</p> <p>【一人1台端末の活用】 ・復習問題や振り返りシートの提出など</p>	○	○	<p>【知識・技能】 ・動詞、形容詞、形容動詞の働きを捉えつつ、活用を理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・動詞、形容詞、形容動詞の活用を単語や文中からも判断することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常生活にも動詞、形容詞、形容動詞に分類される言葉が多様にあることを理解し、身の回りのことと関連付けて学びに向かうおうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>単元：鷹使ひの夢</p> <p>【知識及び技能】 ・用言の品詞と活用の種類、活用形を理解することができるようにする。</p> <p>・話の大筋を理解できるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・作中の鳥の特徴をもとに、残された雌鳥の悲哀を感じ取ることができるようにする。</p> <p>・鷹使ひの行動の変容を心情の変化から読み取ることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・夢の中の鳥の言動の動きを音読において積極的に反映させることができるようにする。</p>	<p>【指導事項】 ・文中にある用言について分類する時間を確保し、活用の種類や活用形についての理解の定着を図る。 ・実際の行動と夢の中の言動の区別ができるよう指導する。 ・雌鳥の悲哀を和歌によってどのように表現されているかが理解できるよう指導する。</p> <p>【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・京都書房「高校生の古典文法 七訂版」</p> <p>【一人1台端末の活用】 ・復習問題や振り返りシートの提出など</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 ・用言の品詞と活用の種類、活用形を理解している。</p> <p>・話の大筋を理解できている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・作中の鳥の特徴をもとに、残された雌鳥の悲哀を感じ取り、自分の言葉で表現できている。</p> <p>・鷹使ひの行動の変容を心情の変化から読み取ることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・夢の中の鳥の言動の動きを音読において積極的に反映させようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>単元：猿ヶ島（太宰治）</p> <p>【知識及び技能】 ・文中の漢字や語句について正しく理解できるようにする。</p> <p>・登場する猿たちの立場や行動を的確に捉える。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・登場する猿たちの心情を読み取り、その姿に込められた寓意やテーマについて考えられるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の舞台となる時代や当時の日本と西洋諸国との関係性など作品の背景を積極的に知ろうとする。</p>	<p>【指導事項】 ・本文の大まかな内容を把握し、伏線について考察できるよう指導する。 ・「私」と「猿」の関係性について気づかせるよう指導する。 ・他の猿たちとの差異について理解できるように指導する。</p> <p>【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・京都書房「高校生の古典文法 七訂版」</p> <p>【一人1台端末の活用】 ・伏線についての考察の共有や振り返りシートの提出など。</p>	○	○	<p>【知識・技能】 ・文中の漢字や語句について正しく理解できている。</p> <p>・登場する猿たちの立場や行動を的確に捉えている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・登場する猿たちの心情を読み取り、その姿に込められた寓意やテーマについて考えられている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品の舞台となる時代や当時の日本と西洋諸国との関係性など作品の背景をもとに積極的に解釈しようとしている。</p>	○	○	○	6
定期 考 査			○	○		○	○		1
	<p>単元：助動詞</p> <p>【知識及び技能】 ・助動詞の性質や働きを正しく理解できるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ・助動詞の種類を文中において判断し、意味を判別できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・助動詞は現代語でも多用されている品詞であることに気づき、古文においても学ぼうとすることができるようにする。</p>	<p>【指導事項】 ・現代語の助動詞にも触れて、身近な品詞であると考えられるように指導する。 ・助動詞には使用する際のルールがあることに触れ、接続する活用形が決まっていることを指導する。 ・用言の活用形を確認し、接続によって意味の識別ができることを指導する。 ・すべての助動詞についてではなく、段階的に提示、指導することにより覚え違いや混乱を避ける。</p> <p>【教材】 ・桐原書店「探求 言語文化」 ・京都書房「高校生の古典文法 七訂版」</p> <p>【一人1台端末の活用】 ・復習問題や振り返りシートの提出など。</p>	○	○	<p>【知識・技能】 ・助動詞の性質や働きを正しく理解できている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・助動詞の種類を文中において判断し、意味を判別することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・助動詞は現代語でも多用されている品詞であることに気づき、古文においても積極的に学ぼうとしている。</p>	○	○	○	8

3 学 期	<p>単元：敬語表現</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代語と古語の敬語表現の共通点を理解できるようにする。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬語の種類と敬意の方向について判断できるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古語の学習を通して現在の自分の言葉の使い方を振り返らうとする。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬語表現の役割について指導する。 ・尊敬語、謙譲語、丁寧語の別についてや、補助動詞、二重敬語について指導する。 ・現代語における正しい敬語表現について指導する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桐原書店「探求 言語文化」 ・京都書房「高校生の古典文法 七訂版」 <p>【一人1台端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習問題や振り返りシートの提出など。 	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尊敬語、謙譲語、丁寧語の別と本動詞と補助動詞について理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬意の方向を判断することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代語において正しい敬語表現を用いて話そうとしている。 	○	○	○	6
	<p>単元：竹取物語</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解できるようにする。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を理解し内容を解釈できるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとする。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを指導する。 ・伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えられるよう指導する。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・意味を理解できる語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 	○		○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 				6
	<p>単元：朝三暮四</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解できるようにする。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解できるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとする用指導する。 	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読方法を指導する。 ・現在使われている言葉が漢文に由来することを例を提示しながら指導する。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉えられるよう指導する。 ・作品の歴史的・文化的背景について指導する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて気が付くよう指導する。 <p>【教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桐原書店「探求 言語文化」 ・京都書房「高校生の古典文法 七訂版」 <p>【一人1台端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習問題や振り返りシートの提出など。 	○		○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。 	○	○	○	6
	定期考査						○	○		

合計
105

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1～6組：加藤） （1～6組：勝部） （1～6組：小早瀬） （1～6組：花野） （1～6組：熊倉）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】個々の運動能力や特性を把握した上で、各種目の技術力を向上させる

【思考力、判断力、表現力等】協働して実技を行い、ルールを把握し守る態度を身に付けさせる

【学びに向かう力、人間性等】自ら学び、主体的に取り組む態度を身に付けさせる

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種目の運動実践を通して、基礎的技術の習得や基礎体力の向上を図り、心身の頑健な発達を促す	公正・協力・責任等の態度を養う	生涯を通じて自ら継続的に運動ができる能力と態度を学ぶ

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション 体育理論 スポーツテスト	プリントを説明し、理解を深める。 多くの種目のルール把握する。 授業の心得・決まりの周知徹底させ、自らの課題として捉える。	観察、積極性	○	○	○	7
	バドミントン バスケットボール 柔道 陸上 ダンス 体育祭練習	用具の安全な取り扱いを徹底し、事故防止を徹底する。 ラケットの基本動作を身に付ける。 柔道の基本 受身を習得する。 クラスの連帯感を深めると共に、体育祭の円滑且つ安全な運営につなげる。	観察、実技、技能テスト	○	○	○	18
	定期考査						
	バドミントン バスケットボール 柔道 陸上 ダンス 水泳	用具の安全な取り扱いを徹底し、事故防止を徹底する。 基本的なボール操作を身に付ける。 柔道の基本 受身を習得する。 グループやチームで活動する。 近代4種目の内、クロール・平泳ぎを習得する。長く又は速く泳ぐ技能を身に付ける。	観察、実技、技能テスト	○	○	○	21
定期考査							
2 学 期	バレーボール 水泳 柔道 陸上 ダンス ソフトボール	基本的なボール操作と空いたスペースやネット際の攻防を身につける。 柔道の礼法・受け身を中心とした基本動作を身につけ、投げ技・固め技の反復練習を行い習得する。 キャッチボールなどの 基本練習と簡易ゲーム実施し、技能の向上を図る。	観察、実技、技能テスト	○	○	○	41
3 学 期	持久走 バスケットボール	3～5キロの持久走を実施する。 連続した攻守の入れ替えの中で空間への侵入や連携した動きを身につける。	観察、実技、技能テスト	○	○	○	18
	合計						

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：勝部） （2組：小早瀬） （3組：勝部） （4組：熊倉） （5組：小早瀬） （6組：熊倉）

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】個々の運動能力や特性を把握した上で、各種目の技術力を向上させる

【思考力、判断力、表現力等】協働して実技を行い、ルールを把握し守る態度を身に付けさせる

【学びに向かう力、人間性等】自ら学び、主体的に取り組む態度を身に付けさせる

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人および社会生活における健康・安全について理解を深める	学んだことを活かし自らの健康を適切に管理できる資質や能力を育てる。	生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	体のつくりと働き 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防	健康について考え、現在の我が国の健康問題について考える。また、生活習慣病について理解を深める。	観察、ノート記入、プリント記入、発言	○	○	○	5
	5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康	適度な運動が健康を作ることを理解する がんの原因と予防について理解する。	観察、ノート記入、プリント記入、発言	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学期	9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防	意志決定と行動選択は様々な要因の影響を受けることを理解する。感染症について理解を深める。心と体の相関について考える。交通事故の現状と予防について考える。	観察、ノート記入、プリント記入、発言	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学期	18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	応急処置の手順について理解を深め、実際に行えるようにする。	観察、ノート記入、プリント記入、発言	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

芸術

科目

美術Ⅰ（選択必修）

教科：芸術

科目：美術Ⅰ（選択必修）

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：儀部・大竹）（2組：儀部・大竹）（3組：儀部・大竹）（4組：儀部・大竹）（5組：儀部・大竹）（6組：儀部・大竹）

使用教科書：（高校の美術1）

教科 芸術

の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ（選択必修）

の目標： 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や芸術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や芸術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		絵 ・ 彫	デ 映	映							
色課題、ポスターカラー、ロゴデザイン	色相環づくり 絵の具の特性と彩色の基本 色彩の基礎を学ぶ。 カラーチャートと同じ色を作る。		○		○	観察、ワークシート記入 ポスターカラーの特性を理解し、適正に扱えるようになる。 平筆と面相筆を用途によって使い分ける。	○	○	○	11	
鑑賞 古典から現代アートまで	それぞれの時代の作品を比較して 鑑賞 作品ごとの背景にあるコンセプト、文脈を学ぶ				○	観察、ワークシート記入 様々な作品を知り、表現の豊かさやおもしろさを感じ取る。 自ら様々な表現について興味を持ち調べる。	○	○	○	3	
陶芸、彫刻制作	陶土を駆使した制作を行い様々な 表現について学ぶ		○		○	観察、ワークシート記入 作品を知り、表現の豊かさやおもしろさを感じ取る。 自ら様々な表現について興味を持ち実践する。	○	○	○	11	
2 学 期	映像メディア表現	Adobe Photoshop 画像の拡大縮小・回転、レイ ヤー、選択範囲とマスク、色調補 正、フィルター、画像の補正と合 成、フィルター効果 ポスターの制作		○		○	観察、ワークシート記入 Photoshopの操作方法を理解し、使いこなして、イメージ通りの画像が作れるようにする。	○	○	○	11
	ロゴデザイン	伝えたい情報を整理し、印象に残る シンボルマークや、使用する場 所や目的にあったサインをデザ インする。		○		○	観察、ワークシート記入 公共のロゴを鑑賞し、デザインが果たす 役割や働きについて考えを深める。 目的やコンセプトに沿ったロゴをデザインで きるようにする。	○	○	○	14
3 学 期	映像メディア表現	Adobe Illustrator 線や図形を描く、変形させる ベジェ曲線、ライブトレース 制作		○		○	観察、ワークシート記入 Illustratorの操作方法を理解し、使いこ なして、イメージ通りの画像が作れるよ うにする。	○	○	○	8
	立体造形	紙、粘土、段ボールなどで立体制 作を行う		○		○	観察、ワークシート記入 様々な作品を知り、表現の豊かさやおもしろ さを感じ取る。立体、彫刻の基礎について 学び、イメージに沿った作品表現をできるよ うにする。	○	○	○	12
										合計	70

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

芸術 科目 書道 I

教科： 芸術

科目： 書道 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：入山）（2組：入山）（3組：入山）（4組：入山）（5組：入山）（6組：入山）

使用教科書：（光村図書 書 I）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各項目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や所の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
<p>A 書写から書道へ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認 臨書・鑑賞・創作の理解 用具用材の理解 それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解 <p>○教材</p> <p>大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈</p>	○	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解できている。 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解できている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組むことができている。 主体的に書の幅広い表現の学習活動に取り組むことができている。 	○			6	
<p>B 文字の造形を学ぶ【楷書】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。 	<p>○指導事項</p> <p>書風の違いを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 方勢と円勢の違いについて 牛橛造像記 鄭義下碑 <p>○教材</p> <p>大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨毛氈、参考作品</p>	○	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を習得できている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養える。 	○	○	○	20	

1 学期

<p>C 古典を生かした創作</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に対象を見つめ、古典から感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。 	<p>○指導事項</p> <p>楷書を基に創作する 字書の扱い方 草稿の練り方</p> <p>○教材</p> <p>大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、字書</p>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現活動に取り組もうとしている。 	○	○	○	12
<p>2 学 期</p> <p>D 文字の造形を学ぶ【行書】【草書】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 ・行書・草書・隷書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。</p>	<p>○指導事項</p> <p>書体の違いを理解させる。</p> <p>【行書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蘭亭序 ・風信帖 ・三筆・三跡について <p>【草書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真草千字文 <p>【隷書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曹全碑 <p>【篆書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泰山刻石 <p>○教材</p> <p>大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、参考作品</p>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、各書体に特有の字形や線質の特徴を理解する。 ・行書・草書・隷書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を習得できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行書・草書・隷書・篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できた。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養える。</p>	○	○	○	12
<p>E 漢字仮名交じりの書を学ぶ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考作品の臨書 ・創作 <p>○教材</p> <p>小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、参考作品</p>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を習得できている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫できた。 ・創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養うことができている。 	○	○	○	8

3 学 期	<p>F 仮名の書を学ぶ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質、字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の成立や種類 ・筆使い、平仮名、変体仮名、連綿について理解させる <p>書風の違いを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓬莱切 ・高野切第三種 ・三色紙 <p>構成方法の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散らし書き ・行書き <p>○教材</p> <p>小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、参考作品</p>							○ ○					○ ○ ○	8
	<p>G 好きな言葉を書こう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 	<p>○指導事項</p> <p>創作</p> <p>○教材</p> <p>大筆、小筆、硯、文鎮、紙、墨 毛氈、参考作品、字書</p>							○ ○ ○					○ ○ ○	4
												合計	70		

